

地域圏大学の奮闘評価を

豊田三重大学長が記念講演

都市環境ゼミ35周年の集いで

都市問題・環境問題を一時間にわたり講演題を学習する旨を述べた。以下その要旨。

ミ『都市環境ゼミナール』会長・伊藤一郎、前学長・特任教授、産業大連理名古屋産業大学院約200名の出席者が、35周年の集いが開催された。

1月26日、ホテルグリーンパーク津で開催された。この大学が増え、地方大学が減る傾斜配分が行われ、これが地方大学は潰れる。

経済財政問題会議や教育再生会議で、旧帝大を中心とした上位校に予算を重配分し下位校は削減するといふ方針が打ち出され、国の理諭じ実際の受講者有り約60名が更に勉強を続けると設立した。

73年1月20日、前年夏に三重大学が開催した初の公開講座「都市環境デザインの理論じ実際」の受講者有り約60名が更に勉強を続けているが、果して地方大

学は頑張っていないのか?・特別賞を受賞するなど成績が出ていた。07年の就職率が87.4%の三重大学は、07年ベスト40+デザイン賞にノミネートされ、06年日本バイオクラスター・ランキンギングで全国51位、国公立大学11位、国立総合大学4位、薬・健康食品の治療はどんどん増えている。三重大学は昔から帝大中心のバイオエタノール生産

は良い。産官連携で06年の全国大学別共同研究受入れ件数は全国13位。規模からすると頑張っている。相手先は中小企業45%・大企業39%

と協働している。大学間の協同研究では全国3位だ。特許出願件数も04年は30件だったが、05年69件、06年54件と医療・バイオ分野知事はこんな数字で三

重大学の価値は計れないとも云つたが、私もそう思っている。三重大学は文化力、地域再生の源泉だ。

論文の質は、他の研究者にどれだけ引用されたかで評価されるが、旧帝大と地方大学の比較データでは殆ど変わらない。教員一人当たりの研究費は地方大は旧帝大の68%に過ぎないことがある。他にも世界をリードできる可能性がある。例

えば三重大学は医学研究部門が期待されているセララフィッシュ研究センター』として集中すれば三重大学が

世界をリードできる可能性がある。他にも世界をリードできる研究テーマは幾つもある。政府には『選択と集中すれば三重大学が

世界をリードできる可能性がある。他にも世界をリードできる研究テーマは幾つもある。政府には『選択と集中』と称して地方大学の機能を低下させるのではなく、我が国が世界に勝てる

機能を低下させるのではなく、我が国が世界に勝てる研究拠点の数を増やすため、地方大学の潜在力を生かすことのできる政策をおこなうことが必要である。竹内淳教授が『旧帝大重願いしたい』



豊田長慶学長

73年1月20日、前年夏に三重大学が開催した初の公開講座「都市環境デザインの理論じ実際」の受講者有り約60名が更に勉強を続けているが、果して地方大

学は頑張っていないのか?・特別賞を受賞するなど成績が出ていた。07年の就職率が87.4%の三重大学は、06年日本バイオクラスター・ランキンギングで全国51位、国公立大学11位、国立総合大学4位、薬・健康食品の治療はどんどん増えている。三重大学は昔から帝大中心のバイオエタノール生産

は良い。産官連携で06年の全国大学別共同研究受入れ件数は全国13位。規模からすると頑張っている。相手先は中小企業45%・大企業39%

と協働している。大学間の協同研究では全国3位だ。特許出願件数も04年は30件だったが、05年69件、06年54件と医療・バイオ分

野知事はこんな数字で三重大学の価値は計れないとも云つたが、私もそう思っている。三重大学は文化力、地域再生の源泉だ。

論文の質は、他の研究者にどれだけ引用されたかで評価されるが、旧帝大と地方大学の比較データでは殆ど変わらない。教員一人当たりの研究費は地方大は旧帝大の68%に過ぎないことがある。他にも世界をリードできる研究テーマは幾つもある。政府には『選択と集中すれば三重大学が

世界をリードできる可能性がある。他にも世界をリードできる研究テーマは幾つもある。政府には『選択と集中』と称して地方大学の機能を低下させるのではなく、我が国が世界に勝てる研究拠点の数を増やすため、地方大学の潜在力を生かすことのできる政策をおこなうことが必要である。竹内淳教授が『旧帝大重願いしたい』